

広島市東部地区連続立体交差事業の都市計画変更に係る
地元説明会（南区青崎・堀越地区）の開催結果について

1 開催日時等

対象地区	開催日時	会 場	出席者数
南区青崎・堀越地区	平成30年9月13日（木） 19:00～19:40	青崎公民館	約30名

2 結果

○ 事業に関する意見が大半で、都市計画変更に関する意見はなかった。

3 主な質疑及び意見

○閉鎖する場的場川西踏切代替の歩行者横断道や船越中央線の位置は、平成30年3月の地元説明会から変更はないのか。

⇒船越中央線はすでに都市計画決定をしているので位置の変更はない。歩行者横断道も場的場川西踏切から約80m西側に変わりないが、詳細な位置については、鉄道の詳細設計で検討していきたい。

○事業期間は、詳細設計期間3年と工事期間17年の合計20年という考え方でよいのか。

⇒おおむね3年の詳細設計後、工事着手し、17年後の完成を目標としている。

○Ⅰ期は問題なく着工されると思うが、Ⅱ期も、Ⅰ期工事後に事業が見直しにならないことを要望するとともに、Ⅱ期も確実に着工することを約束できるか。この事業は私たちの世代で終わらず、次世代のために、事業が進むことを期待している。

⇒この事業は広島県・広島市・府中町・海田町の共同事業であり、一連の整備になるため、Ⅰ期のみで終わることなく、Ⅱ期も確実に整備していく。

○的場的場川西踏切を閉鎖し、Ⅰ期・Ⅱ期の分割施工とするとのことだが、本当にコスト縮減になるのか。また、事業費の内訳は公表すべきではないか。

⇒高架構造から擁壁構造への変更や、海田町域での山陽本線・呉線の高架化区間の短縮によりコスト縮減を図っている。事業費については、あくまで概算額であり、その内訳は公表していない。

○的場的場川西踏切で一旦鉄道の高架が下がるが、的場的場川の周辺の道路等はどのようなになるのか。

⇒的場的場川西踏切で鉄道の高架を下ろし、それに合わせて青崎中店線を整備するため、整備後は鉄道に接した形の道路となる。

○7月豪雨災害での府中町（榎川）のように、的場川に土砂が堆積し、川の流れが止まってしまうのではないかと少し心配だが、どのように考えているか。

⇒どのくらいの河川断面が必要かは、今回の災害による土砂堆積を踏まえて、河川管理者と協議した上で、できるだけ河川断面が確保できるよう設計していきたい。